

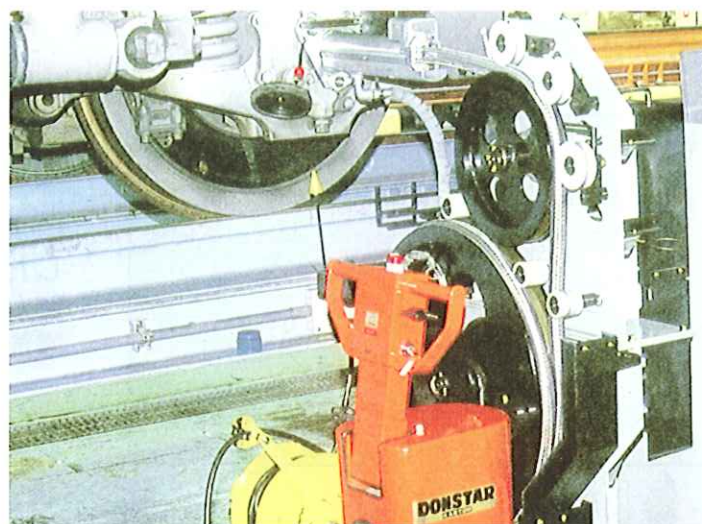
# 中ぐり車軸の超音波探傷法

## 【概要】

新幹線電車では車両のばね下質量の軽減のため、車軸の中央部に穴をあけた中ぐり車軸が実用化されています。従来の中実車軸でも超音波探傷を実施してきましたが、中ぐり車軸には従来の探傷法をそのまま適用できませんでした。そこで、中ぐり車軸に適した探傷法と、これを実現する交番検査用および台車検査・全般検査用の中ぐり車軸自動探傷装置を開発しました。

## 【特徴】

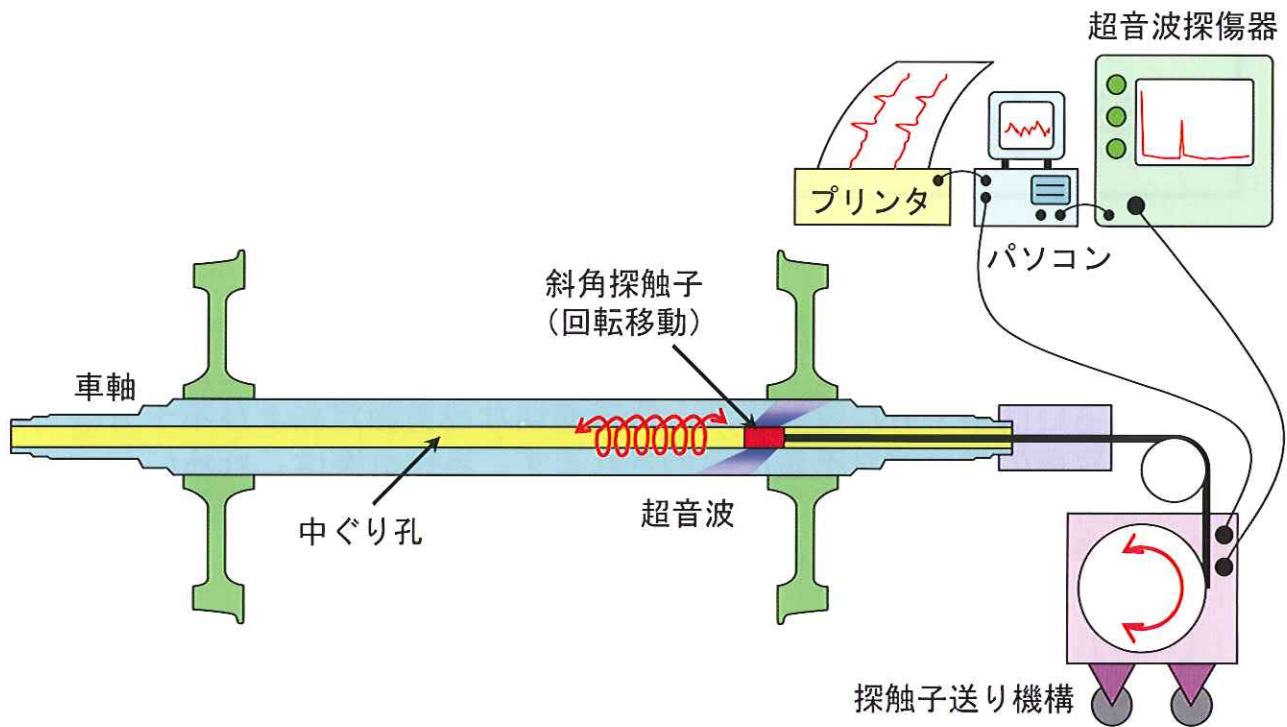
中ぐり車軸自動探傷装置は、1名の作業員で従来の中実車軸よりも高い精度できずを検出でき、探傷結果のコンピュータ処理による可否の自動判定が可能です。



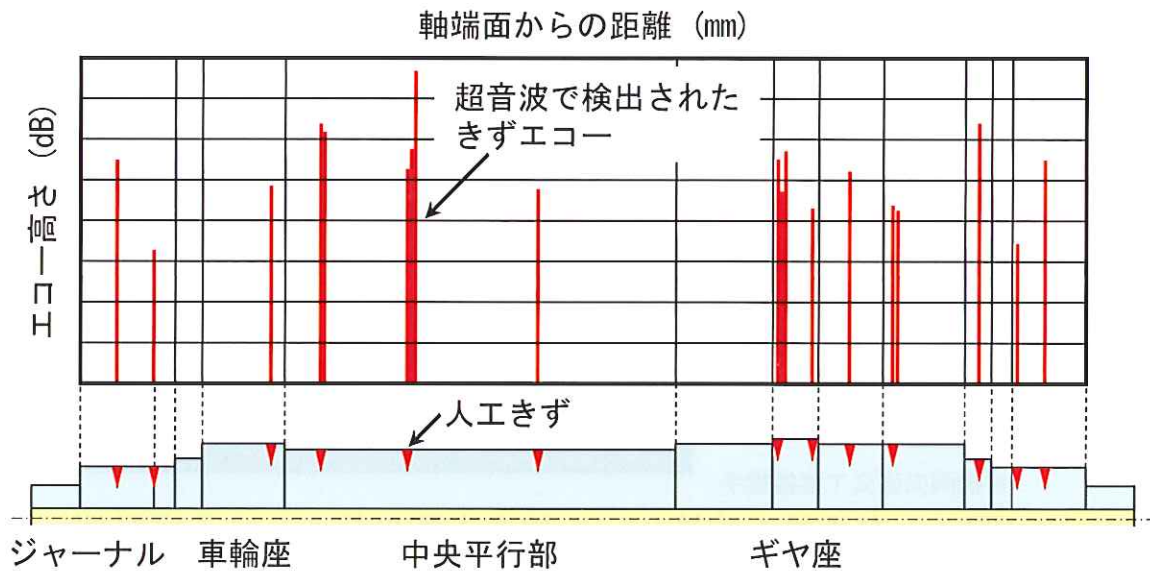
交番検査用中ぐり車軸自動探傷装置

## 【用途】

現在、新幹線電車を運行するJR各社の工場、車両所、運転所など、車両の検修現場で広く利用されています。



交番検査用中ぐり車軸自動探傷装置の構成



人工きずを設けた車軸の探傷結果

特許第2691822号「中ぐり車軸の斜角探傷方法」

【実施例】

JR東日本（新幹線総合車両センターなど）、JR東海（浜松工場など）、JR西日本（博多総合車両所など）、JR九州（鹿児島総合車両所など）で利用されています。